

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			マンツーマンの対応ができるよう、配置や時間を工夫している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現状では必要とする利用者はいないが、必要とあらば指導員が介助していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のため職員の面談を毎月行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からのアンケートでの意見を把握し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	必要に応じて第三者評価の検討をしていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎日ミーティングを開催し、児童の様子を共有している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズだけでなく、子どもたちの声にも耳を傾け、丁寧に聞き取りを行った上で、計画を立てている。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員の得意分野を活かして、子どもたちのニーズに合った活動プログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			偶数月と奇数月で、テーマの異なった調理イベントを開催している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長時間の利用にも対応できるように、プログラムの組み合わせができるように工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		平日は個別が主で、集団は休日や長期休暇のみとなるため、子どもの利用方法により異なる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			個々の児童の課題や分担を確認し、情報共有を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終業前にミーティングを行い、児童の様子や支援の共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回行ったことや課題等の記録をとり、翌日に確認と情報共有を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度、面談の希望を案内している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童の状況を把握した指導員が必ず参画し、対応している	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	保護者を通して学校の情報を得ることが多く、学校とのやり取りは少数である。今後は密接に関われるよう努める。	
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状医療的ケアを必要している児童は在籍していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者とのやりとりのみのため、今後連携を図っていけるよう努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現時点では移行した例がない。移行するケースが出てきた際には、保護者の同意のもと行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	センターないしは保護者を通して受け取って参考にしているが、助言や研修は受けていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状では必要としていないという声が多い。今後希望が出たら検討していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現時点では参加していないが、案内等があれば、今後機会を設けて参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際には情報共有に努めている。送迎しないなど会う機会に恵まれない保護者に対しては、電話やメールでのやり取りを行っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	必要としている保護者が今後出てきた場合、支援を検討していく。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			不明な点があった際にはすぐに内容を把握し、解決して安心して通所していただけるように努めている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談以外にも保護者からの電話やメール・送迎時などに相談援助を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	特別支援学校在籍者の保護者および卒業生の保護者に対して、卒業後の進路などについての情報交換の場を設けている。小中学生においては、今後検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には迅速に対応し解決するように努めている。内容を的確に把握し、今後の支援に活かし、安心して通っていただける事業所体制を整えている。
	㉞	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行しており、インスタグラムでも活動報告をしている。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護法に基づき、事業所内で留意することを共有している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			電話だけでなくメール等の手段を用いて情報伝達を行い、意思疎通を円滑に行えるように努めている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の図書館や体育館でのイベントを企画し参加する機会を増やしていく。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルは入口に設置している。周知が不十分なため、今後周知に努めていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎年行っている。本年は地震を想定した訓練を行った。今後は火事や不審者など、いろいろな事例を想定した訓練を実施していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		3ヶ月に一度、セルフチェックと研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要な事象が発生した際には、保護者に直接または電話で報告し、文書でも保存、共有している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時、および面談時に保護者に確認し、職員に周知している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日のミーティングの際に共有し、文書で記録を残している。